

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 31 年 (2019)

皇紀 2679 年

天皇陛下御在位30年 奉祝

平成 31 年 新春号【第113号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

年頭所感 .....	2 頁
新春初詣 .....	3 頁
早春の行事 .....	4 頁
杜の話題 .....	6 頁
第5回フォトコンテスト入選作品発表 .....	11 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信 .....	12・13 頁
正月社頭風景 .....	14 頁



### 平成三十一年己亥歳の新春に当たり 謹んで皇室を中心とする国家の隆昌と 氏子・崇敬者の皆様のご清福を熟禱申し上げます

宮司 鎌田 紀彦

昨年(平成三十一年)は明治のご一新より百五十年の節目の年であり、その上を顧みて各地で様々な記念行事が行われておりました。明治維新の近代国家建設の精神は、神武建国の創業の始めを顧みて、皇室を中心とする祖国日本の永遠の繁栄を祈り、自主独立、自存自衛の為の国造りであったことを再確認することが出来ました。

そして昨年の日本列島は高温化という異常気象とともに多くの自然災害に見舞われました。6月の大阪府北部地震、7月には、西日本を襲った集中豪雨。9月、北海道胆振東部地震による大災害とともに全道が停電に依るライフラインの大混乱。また8、10月、次々と襲来する台風による被害も多くありました。これらの災害で亡くなられた方々に改めて哀悼の誠を捧げるとともに一日も速い復興をお祈りするばかりであります。

天皇皇后両陛下には昨年度もこれらの各羅災地をご訪問になり、慰霊と避難生活の方々を親しく慰問され、励ましのおこばを掛けておられました。尚、ご在中海外への戦没者慰霊の旅



又昨年は今上陛下御在位三十年奉祝の年でもありました。当宮では奉祝してわかば祭り(春の大祭)、大宮八幡祭り(秋の大祭)、新嘗祭等主な祭典・行事等を齎行させて頂きました。

や、沖繩を始め自然災害がある度にそれぞれの地域に Outreach されては国民を励ますれ、絶えず国民に寄り添って下さっているお姿は復興への心強い足掛りとなっております。お姿は復興への心強い足掛りとなっております。お姿は復興への心強い足掛りとなっております。

私どもは豊かさを求め、便利で快適な生活を享受している内に、知らず知らず自然を自由自在に操り、過信してきま

した。私ども人間に対する自然界からの警告、つまり自然の神々からの怒りとも思えるのであります。そこで私どもの遠い祖先より受け継いできた精神(考え方)を繙きますと、自然も私どもと同じ神々から生れた兄弟であり、同胞であるということでもあります。従って自然は親しむもので、人間は決して自然を征服したり破壊すべきではないという考え方であります。大自然の恵みに感謝すると共に、畏敬の念をもって慎み畏み謙虚な心で、自然環境を守って行くことの大切さを再確認することであり、即ち自然と共生して生かされ生きている事に思いを致し、日々感謝の生活をする事であると思っております。

本年は、今上陛下の聖旨を承り4月末に天皇陛下御譲位、5月1日に新帝御即位となり、皇位継承に関わる諸儀式、諸行事が順次行われる慶祝の年となります。大宮八幡宮では元旦午前零時、宮司の打ち鳴らす初太鼓と同時に神門が開かれ、この瞬間を待ち望んだ多くのご参拝の皆様長い列が拜殿前へ陸続と続きます。拜殿内では、新春を寿ぐ神能「翁」が人間国宝の観世流能楽師の野村四郎師により奉納。次いで、新春厄除開運初大祈願祭(二番祈禱)が宮司奉仕により齎行され、順次新春初祈願祭が奉仕されます。明けて午前8時より歳旦祭が齎行され、2日午前には、ご宗家小笠原清忠氏率いる小笠原流一門により小笠原流新春除魔神事、墓目の儀・大的式が奉納され、弓威により一年の邪気が祓われま

### 天皇陛下御在位三十年奉祝

## 明けましておめでとございませす

### 平成三十一年己亥歳正月

一日観世流能楽師野村四郎奉納 神能「翁」  
二日小笠原流除魔神事 墓目の儀・大的式



## 新春初詣

### 神功皇后七百年式年大祭 六月三日に齎行

御祭神神功皇后様は御名を息長帯比売命と申し上げ、主祭神応神天皇様の母君で、宮の子育て八幡さまの聖母信仰(母子信仰)の源流であります。本年は、神功皇后様が摂政69年(西暦269年)、陰暦の4月17日に御歳百歳で神上がりましたより1750年の式年に当たります。その日を太陽暦に換算した6月3日には、先ず狭城盾列池上陵(奈良県)を遙拝して後、式年大祭を齎行して御神徳を敬慕申し上げます。

本年4月30日を以つて天皇陛下が皇太子殿下に御位を御譲位されます。第119代光格天皇の御譲位より二〇〇年ぶりのこととなります。本来は天皇が御位につかれることを「踐祚」といい、「即位」は踐祚の後に、「高御座」に登られ、そのことを国内外に宣明されます。因みに皇后陛下は左側(向つて右)の「御帳台」に登られます。

平成の御代替では、昭和天皇の崩御により一年間の諒闇を経て、平成2年に御大札の諸儀式が行われました。主なもの、即位の礼正殿の儀(11/2)、大嘗宮の儀(11/22、23)がありました。特に御位につかれて一番最初の新嘗祭を大嘗祭といひます(皇居内東御苑に悠紀殿、主基殿等大嘗宮が新築され、夜間に齎行されました)。これらの御代替に関する一連の儀式は、国家的重儀とされています。

昨年も新穀を皇祖をはじめ神々に捧げられ神恩に感謝されるとともに、御親らもお召し上がりになる今上陛下として最後の新嘗祭が11月23日夕刻から翌24日の未明にかけて、皇居内の宮中三殿に隣接する神嘉殿で齎行され、天皇陛下には「夕の儀」に出御せられました。「平成26年から「夕の儀」のみに出御され、「暁の儀」に際しては御所にて皇后陛下とともに御参り遊ばされておると漏れ承ります。(神社新報平30・12・3付、第3426号)。

### 平成三十一年 新春の祭典と主な行事

- 1月1日 神能「翁」  
新春厄除開運初大祈願祭(二番祈禱)
- 1月2日 小笠原流墓目の儀・大的式
- 1月3日 元始祭
- 1月7日 昭和天皇二十年式年祭遙拝式
- 1月15日 古神札焼納祭(とんど焼き)
- 1月25日 初天神祭(大宮天満宮)
- 1月26日 文化財防火・テーク消防演習
- 2月2日 初午祭(大宮稻荷神社)
- 2月3日 節分祭
- 2月11日 紀元祭
- 3月春分 春季皇霊祭遙拝
- 3月下旬 大宮八幡宮わかば祭り
- 4月上旬 大宮八幡宮わかば祭り
- 4月3日 神武天皇祭遙拝・本宮遙拝
- 4月29日 昭和祭・春の弓道奉納射会
- 5月3日 大宮八幡宮わかば祭り(春の大祭)
- 5月11日 裏千家献茶式
- 5月16日 御嶽様名神社例祭(御嶽様名神社)
- 6月3日 神功皇后七百年式年大祭
- 毎月1日 朔旦祭(ごなたでもご自由に)
- 毎月15日 月次祭(ご参列出来ませす)
- 毎月25日 大宮天神月次祭

毎月・お朔日参りを致しましょう

の平和を祈られ、国民を大御宝として、我が子の如く、いつくしみ、情愛をほどこして下さっているのです。これらは歴代天皇(皇室)の一貫した責務であり、不

この世界に万世一系の天皇を戴く比類なき日本の国柄に思いを致し、神武建国の創業の始めを顧みつつ、祖国日本の永久の弥栄と世界の平和をお祈りして、12月23日の天皇誕生日に平成の御代最後の天皇祭をご奉仕致します。祭典には役員総代、敬神婦人会(りんどう会)、氏子青年会役員等が参列して御宝算85歳の聖寿をお祝いし、御在位三十年を寿ぎ感謝の誠を捧げさせて戴きます。

本年もご神威輝くご神前に額づき、大宮八幡宮の神々とのご神縁と絆をより強く結ばれ、豊栄昇る初日(朝日)を拝まれ、更に活力のある幸せ多き年となりますよう祈念致し年頭の挨拶と致します。(平・30・12・8記)

### 謹賀新年

平成三十一年元旦

#### 大宮八幡宮

- 代表役員 宮司 和田東地区 鎌田 紀彦
- 責任役員 五本木 徳治 藤枝 宏友 内山 誠章 瀨沼 宏章 玉村 恭男 鈴木 憲章
- 議長 青木 龍雄 丸山 光男 葉梨 俊郎
- 監査 笠原 紀三 細野 修三
- 総代 大宮地区 五本木 徳治 荒井 昭一 青木 龍雄 根岸 賢治 末柄 哲勝 五本木 哲明 根岸 政明
- 方南地区 三枝 治太郎 丸山 光男 内山 誠章 相川 雄一
- 方南北地区 岩崎 太良 岩藤 憲章 鈴木 憲章 岩田 和保 細野 修三
- 松ノ木地区 太田 正年 瀨沼 宏章 松川 敏之 松島 邦夫 小川 宗次郎
- 相談役 田木 千城夫 大宮八幡宮敬神婦人会 (りんどう会) 会長 鎌田 民枝 大宮八幡宮氏子青年会 会長 井川 邦夫 兼務神社総代会 長 堀ノ内 野神 社 渋谷 達雄 成宗 白山 神社 岩田 和保 尾崎 熊野 神社 安藤 雄次

### 天皇陛下御譲位・新帝即位に関わる御儀

- 平成31年2月24日 「天皇陛下御在位三十年記念式典」
- 平成31年4月30日 「退位礼正殿の儀」
- 新元号元年5月1日 「劍璽等承継の儀」「即位後朝見の儀」
- 新元号元年10月22日 「即位礼正殿の儀」「祝賀御列の儀」
- 新元号元年10月23日 「饗宴の儀」
- 新元号元年11月14日～15日 「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会」
- 新元号元年11月14日～15日 「大嘗宮の儀」
- 新元号2年4月19日 「立皇嗣の礼」

(政府発表)

## 大宮八幡宮 早春の行事

### 新春恒例の除魔神事、墓目の儀・大的式

ひきめ おおまつしき

1月2日午前10時、初春の年頭にあたり、恒例の弓の除魔神事、墓目の儀・大的式が、小笠原流ご宗家一門の方々により奉仕されます。墓目とは、矢先につけた墓蛙に似た鐙の形をいい、鋭い風切り音により魔障を退散させます。大的式は、千五百年前清寧天皇の御代に射を行った日本書紀の記述に基づく、公家・武家に伝わる重儀で、いずれも当宮の新春恒例の天下泰平・国家安泰を祈念する弓始めの神事です。



### 古札焼納祭(とんど焼き)斎行

1月15日睦月月次祭に続き、小正月の伝統行事、古神矢・古神札等焼納祭(とんど焼き)が斎行されます。古く宮中では小正月に清涼殿東庭で古書を焼く左義長の儀式

### 成人奉告祭のご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告し、神明の御加護のもと社会の一員としての自覚を新たにす成人奉告祭を随時ご奉仕しています。ご祈願の新人の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を特別授与いたしております。新成人の皆様のご参拝をお待ちしております。

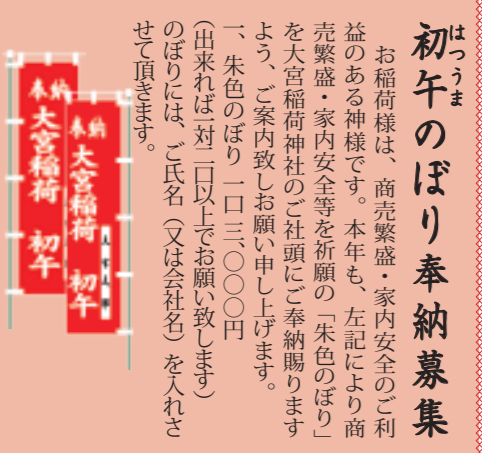
### 大宮稲荷神社初午祭

約1300年前の和銅4年の初午の日に、京都伏見の峰に稲荷大神が降臨された故事により全国の稲荷神社で斎行される初午祭。本年は2月2日午後1時より百数十本の鮮やかな朱色の初午のぼりが立ち並ぶなか、のぼり奉納者の崇敬者の参列のもと祭典が斎



### 初午のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願の「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭に「ご奉納賜りますよう、ご案内致しお願い申し上げます。朱色のぼり一口三〇〇〇円(出来れば対二口以上でお願い致します)のぼりには、ご氏名(又は会社名)を入れてさせて頂きます。



### 新春初祈願祭のご案内

元旦の午前零時、神能「翁」の奉納に続き、その年最初の祈願祭である「新春厄除開運初大祈願祭(一番祈禱)」が宮司奉仕により執り行われます。この祈願祭は、予め予約申込をいただいております。引き続き午前1時より新春初祈願祭を行っております。新春の年頭に当たり氏子・崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りいたします。ご家庭や職場の皆様の願意に応じて、社頭で随時ご祈願をご奉仕致しております。



新春初祈願祭の受付時間  
1月1日午前1時から午後7時30分  
2・3日午前9時から午後7時  
4日以降午前9時30分から午後4時30分  
1月1日午前8時歳旦祭  
1月3日午前10時元始祭  
1月15日午前10時月次祭  
それぞれ右記の時間に祭典が斎行されます。また、この他新春奉納行事などの参拝の際は終了までお待ち頂く場合がございますので、詳細は社務所までお尋ね下さい。

### 大宮天満宮初天神祭

初天神祭は1月25日午前10時より斎行します。学問の神様である菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願します。また、梅の香かおる「梅ヶ香御守」が社頭にて特別に授与されます。



### とんど焼きにご協力をお願い

ご神札等をお納め頂く際に全て点検・選別させて頂き、神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生恐れのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙は、その場でお持ち帰り頂いております。  
◆お守り・古神矢・古神札類(他の神社のもの)及び正月飾りのみお預かり致します。  
◆人形類は、別途ご社殿におきまして人形感謝祭を斎行してからお納め頂きますので、直接祈願受付所へお申し出下さい。但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません。

### 紀元祭並びに榎原神宮選擇

2月11日は建国記念の日(紀元節)です。初代神武天皇が大和の榎原の宮で即位されたことされるこの日、全国各地で我が国の建国を寿ぐ諸行事が行われます。皇紀二千六百七十九年の本年、当宮では午前10時より紀元祭が斎行され、皇室が斎行され、皇室の隆昌と世界の平和をご祈念申し上げ、清涼殿2階の特設会場で神武天皇をお祀りする榎原神宮を選擇します。



### 大宮八幡桜まつり

大宮八幡宮を中心とする和田堀公園(旧境内)一帯は善福寺川沿いの数千本の桜が一斉に咲き誇る桜の名所として有名です。当宮では、桜の開花に合わせて3月下旬から4月上旬に大宮八幡桜まつりを開催。期間中の土曜・日曜は午後8時まで開門し、夜間参拝と桜満開の和田堀公園への通り抜けができます。また期間中の土曜午後6時より雅楽演奏「夜桜の神遊び(雅楽と神楽の夕べ)」(無料)を開催、春の宵の雅楽ひと時をお楽しみいただけます。



### 新春初祈願 企業団体の祈願祭も

新春に当たり氏子崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を連日ご奉仕させて頂きます。又、企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。祈願祭には代表様・従業員の皆様もお揃いでご昇殿頂きます。この新春にお揃いでご祈願を受けられまして、清々しい気持ちで一年の仕事始めとされては如何でしょうか。

新春祈願・企業団体祈願をご希望の方は、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、ご予約をお願い致します。※ご神札には、祈願名と代表者名を浄書させて頂きます。

### 文化財防火デー消防演習

世界最古の木造建造物である奈良・法隆寺の金堂が昭和24年1月26日不幸にも炎上し焼失しました。このようなことが二度と起きないよう、この日は文化財防火デーと定められ、当宮でも杉並消防署の指導のもと、消防訓練を行っております。当宮の自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第二分団により毎年実施。午前10時、御社殿より出火を想定して通報、避難誘導、貴重品の持ち出し、初期消火等の訓練が行われ、大宮幼稚園の園児たちが見守る中、社殿への一斉放水が実施されます。



### 勸学祭・ランドセルお祓い

小学校への入学は格別に印象深い人生の節目です。小さい背中に大きなランドセルを背負って歩く新一年生の姿は可愛らしく頼もしいものです。これから毎日背負うランドセルをお祓いして、子育て八幡様のご加護を戴き6年間の学校生活の充実と交通安全を祈願いたします。



### 新春厄除祈願祭のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しましょう。

### 平成三十一年厄年表(数え年)

性別	厄年		
	前厄	大厄	後厄
男	平成8年生(24歳)	平成7年生(25歳)	平成6年生(26歳)
	昭和54年生(41歳)	昭和53年生(42歳)	昭和52年生(43歳)
	昭和35年生(60歳)	昭和34年生(61歳)	昭和33年生(62歳)
女	平成14年生(18歳)	平成13年生(19歳)	平成12年生(20歳)
	昭和63年生(32歳)	昭和62年生(33歳)	昭和61年生(34歳)
	昭和59年生(36歳)	昭和58年生(37歳)	昭和57年生(38歳)
	昭和35年生(60歳)	昭和34年生(61歳)	昭和33年生(62歳)

※大厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けられることが出来ます。

# 杜の話題

## 天皇陛下御在位三十年奉祝 大宮八幡祭り(秋の大祭)

昨年の大宮八幡祭り(秋の大祭)は、まず9月14日に御神輿御霊入れ祭と若宮八幡神社・白幡宮例祭が斎行され、曜日の巡りの関係で翌15日に宵宮祭、16日に例祭併せて氏子奉幣祭が斎行されました。16日の御祭儀には、神社本庁より献幣使として



東京都神社庁小野貴嗣庁長(小野照崎神社宮司)が参向され、神社本庁幣を奉獻の後、献幣使祭詞を奏上しました。次いで、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区の氏子より寄せられたご浄財が氏子幣として大前に奉獻され、奉幣使鈴木憲章責任役員が祭詞を奏上し、秋の爽りの感謝と皇室国家の安泰と氏子崇敬者各位の隆昌発展を祈念しました。また、献饌に続いて茶道裏千家東京第6東支部奉仕による奉茶が行われ、御祭儀は厳肅の裡にも盛大に執り行われました。午後6時には第33回神輿合同宮入りが行われ、本年より新たに泉南睦の神輿が加わって合計10基の神輿が次々と表参道を進み、神門内大前に練り込み、当宮初の10基揃っての神輿振りに祭は最高潮に達しました。また、奉祝行事としては9月9日に弓道場振武殿門人による奉納射会、17日午前には御神輿御霊返し祭、午後には、小笠原流宗家による弓の神事三三九手狭式が奉納されました。期間中は大宮幼稚園園児民謡踊り・杉並太鼓・方南工イサー踊りなど様々な神賑行事が奉納されました。このほか、15日・16日には第40回記念献花いけばな小原流展が開催され、直会の席で感謝状が贈呈されました。また、重陽の節句菊被締飾りが9月9日より17日まで清涼殿ロビーにて再現展示されました。

## 中学生職場体験学習

今年も各中学校の皆さんが職場体験に来社しました。5月23～25日松溪中、男子2名。6月5日～7日神明中、女子1名。7月2日～4日泉南中、女子2名と松ノ木中、男子2名女子1名。7月10日～12日西宮中、男子1名女子3名。また10月9日～11日には、大宮中学校の生徒4名が職場体験学



大宮中学校生徒の職場体験

## 竹駒神社職員研修 結成二十周年を記念して

姉妹神社である宮城県岩沼市御鎮座の竹駒神社の村田守広宮司様はじめ職員の皆様が研修旅行で2班に分かれて当宮を参拝されました。まず

## 天皇陛下御在位三十年奉祝 第40回記念 杉並大宮菊花展

10月24日より11月25日まで秋の恒例行事の第40回記念杉並大宮菊花展が杉並大宮菊の会(会長五本木徳治当宮責任役員)主催により開催されました。「753」文字菊の前では例年の如く七五三詣での家族連れが記念撮影をする光景が見られました。11月6日には審査会が行われ、宮司賞以下各賞を選定。12月12日には、第40回記念杉並大宮菊花展表彰式が執り行われ、また、第40回



を記念して、永年に亘り菊の会発展に寄与された、五本木徳治様・本

### 第40回記念杉並大宮菊花展受賞者

- |            |       |       |
|------------|-------|-------|
| 宮司賞        | 国華艦隊  | 櫛田 晃一 |
| 杉並区長賞      | 瀬戸の鷹  | 五本木徳治 |
| 杉並大宮菊の会会長賞 | 兼六香菊  | 青木 弘次 |
| 大宮八幡宮責任役員賞 | 精興右近  | 五本木秀子 |
| 京王電鉄賞      | 国華金山  | 倉本 晴雄 |
| サミット賞      | 国華赤胴色 | 中村幸之輔 |
| サミット賞      | 新花    | 本橋 利夫 |
| 審査委員長賞     | 国華聖者  | 倉本 栄子 |
| 末柄賞        | 泉郷紅姿  | 堀井 祺三 |
| 藤枝賞        | 聖光秀峰  | 庄司 衛  |
| 八幡前通り商栄会賞  | わかば   | 田口紳三郎 |
| 金蓋賞        | 国華金山  | 山田 恭市 |
| 金蓋賞        | 国華金山  | 後藤 明弘 |

## 大宮幼稚園園児画展

11月1日より11月30日まで、恒例の園児画展が開催されました。年中組の園児たちの作品108点が、神門南側翼廊に「だいきな人」をテーマ



## 第18回十五夜の神遊び・月の音舞台

9月24日の夕刻、第18回十五夜の神遊びが開催されました。ご参列の皆様の手により約1300基の竹筒に火が入れられました。浮き蠟燭の揺れる炎に彩られた境内の「月の音舞台」では、おなじみの「き乃はち」氏を迎えて尺



八の奉納演奏があり、初秋の境内は、しばし幽玄の世界に包まれました。



## 全国神社総代会熊本大会

9月26日、第54回全国神社総代会熊本大会が熊本市民会館で開催されました。同会設立60周年記念表彰により五本木徳治・藤枝宏友・鈴木憲章各当宮責任役員が表彰されました。

## 東京都八幡会研修旅行

10月3日～5日、東京都八幡会(鎌田紀彦会長)の研修旅行が13名の参加のもと開催され、佐賀県下の八幡宮を精力的に参拝しました。早朝、羽田より佐賀空港へ。まず龍造寺八幡宮、佐嘉神社を参拝しました。吉野ヶ里遺跡を見学後、武雄市の武雄神社・鹿島市の祐徳稲荷神社を参拝の後、嬉野温泉に宿泊。2日目は、唐津市に向かい市内の唐津神社を参拝し、曳山展示場、唐津城を見学。呼子にて昼食をとり、田島神社・鏡神社を参拝し、虹の松原



千栗八幡宮正式参拝

10月4日には、小野泰治欄宜様以下18名、11日には村田宮司様以下16名の方々が正式参拝されました。



## 奉祝 天皇陛下御即位三十年 全国八幡宮連合研修会

全国八幡宮連合の第39回研修会が11月6日・7日の両日に、大阪府本部の当番で開催され、宮司が出席しました。初日は応神天皇陵を参拝の後、菅田八幡宮正式参拝。ホテルア



菅田八幡宮にて



御殿人、三木信夫氏

伝統を継承されて  
いる方々  
による講  
話、麻の織  
物で作っ

日本の伝統を守り伝える  
大嘗祭と鹿服の調進  
〜知られざる日本の伝統文化〜  
10月14日、麻問屋麻光の主催による日本の伝統を守り伝える講演会が、清涼殿を会場に、120名の参加者のもと開催されました。折しも明年、御代替わりを迎えるにあたり、踐祚大嘗祭に於いて麻の織物である鹿服を調進してきた御殿人阿波忌部氏の末裔、三木信夫氏により古来継承されてきた鹿服について講演がありました。大嘗祭や鹿服、忌部氏の歴史について説明の後、今上陛下の大嘗祭に関して平成元年の麻畑地鎮祭から播種式、抜麻式、鹿服の織り始め式など写真を使った説明に参加者は興味津々、貴重なお話を耳を傾けました。このほか、麻農家（七代目）大森由久氏や神道扶桑教第六世管長宍野史生氏をはじめとした様々



な分野で  
伝統を継承されて  
いる方々  
による講  
話、麻の織  
物で作った  
衣装を纏った倭巫女舞の披露がありました。また江戸消防記念会の木遣りのほか、数々の伝統芸能が奉納されました。講演終了後の懇親会も終始大変和やかな雰囲気の中、盛会裡に終了となりました。



は、東京都氏子青年  
また、11月18日に  
秋の大祭の機運を盛り  
上げました。



表参道注連縄張り

9月8日、秋の大祭を控えて神輿の合同宮入の渡御道となる表参道商店街の両側及び方南通りに早朝から大宮二丁目有志の方々も加わって総勢35名の手によって注連縄が張られ、秋の大祭の機運を盛り上げました。

氏子青年会だより

協議会（井川邦夫会長）の役員会が、清涼殿「亀の間」にて開催されました。

門松づくり

12月24日、年末恒例の門松づくりが行われました。社頭には立派な門松が飾り付けられ新年を迎える準備が整いました。元旦には神門前にて振る舞い酒と八幡そばの模擬店を出店します。



毎月お朔日参りには  
月代り御幣守護を!!  
当宮では古くより朔日（二日）、十五日に月参りをされる参拝者の方が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂くこと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参り大御幣振り神事のご祈願を奉仕して月代り御幣守護を授与致しております。  
月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて齋行させていただきます。



あと写真撮影。清涼殿にて休憩をとり、次の目的地へ向かいました。



ウイーナ大阪にて研修会・式典、懇親会。翌日には、仁徳天皇陵を参拝し堺市博物館を見学。午後は、堺伝統産業会館を見学、住吉大社を参拝して新大阪駅より帰途につきました。  
神宮大麻頒布式並びに  
氏神社神符等奉戴式  
11月9日、平成31年の初春を迎えるにあたり、氏子崇敬者・立正佼成会会員の方々にお頒ちする神宮大麻の頒布式並びに氏神社神符等奉戴式が齋行されました。五本木徳治責任役員はじめ各役員・総代及び兼務神社役員・立正佼成会神札頒布責任者の小松茂登子様のご参列のもと、ご神前において神宮大麻や各氏神大麻、大宮三宝荒神などの神札類の頒



11月23日午前9時より、新穀を大神様にお供えし一年の収穫を感謝する新嘗祭が宮司以下祭員奉仕により大祭式に

天皇陛下御在位三十年奉祝  
新嘗祭 秋の美りに感謝

布始めを大神様に奉告後、各代表様方に授与されました。また、12月中旬には神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻、氏神様のお札、三宝荒神様の御神札をお頒ちしております。ご希望の方は、当宮社務所、もしくはお近くの当宮責任役員・総代にお尋ね下さい。各ご家庭や会社の事務所の神棚に新しいご神札をお祀りして心豊かで清々しい一年を過ごしましょう。



右 お伊勢様のお札  
中 氏神様のお札  
左 三宝荒神のお札

て執り行われまし  
た。責任  
役員・総  
代・りん  
どう会役  
員・氏子  
青年会役  
員・ボー  
イスカウ  
ト及びガ  
ールスカ  
ウト団員  
の他、多  
くの参列  
者のもと  
齋行され  
当宮幼稚  
園園児ら  
が園内の  
稲田で田  
植えや稲  
刈りをし  
て丹精込  
めて育て  
た初穂や  
JA中野  
杉並支部  
など氏子  
崇敬者の  
篤志の方  
々から献納された穀物や野菜果物などが庭積神饌として大前にお供えされました。



江戸消防記念会

11月25日、江戸消防記念会の三〇〇周年祝賀会がザプリンスパークタワー東京で開催され宮司が出席しました。27日に、一般社団法人江戸消防記念会副会長、第九区総代五番組組頭八木健雄様、第九区八番組組頭内山徳松様、第九区八番組小頭末柄孝二様が宮司にご挨拶の為に来宮されました。



小向八幡神社正式参拝

11月28日、神奈川県川崎市幸区小向西町御鎮座の小向八幡神社（伊藤美州穂宮司）氏子会御一行24名が来宮されました。伊藤宮司・総代会長の高橋久之氏とともに玉串拝礼の

### 東京都神社保育連合会の 設置者・園長・教職員 研修会が



11月28日、都内の神社関係の幼稚園・保育園で組織された東京都神社保育連合会の設置者・園長・教職員の研修会が5年ぶりに当宮清涼殿で開催されました。先ず青木幼

児教育研究所の主宰青木久子先生により「変わる社会構造―保護者の意識を踏まえた連携のこれから」と題した講演が行われ、次いで開催報告参拝、東京都神社保育連合会、篠直嗣会長、全国神社保育団体連合会川合玄紘氏の代表による玉串拝礼。大宮幼稚園園児6名が110名の参加者の前で緊張した面持で朝日子舞を奉奏しました。その後、懇親会が和やかに開催されました。



### 第28回杉並花笠祭り

12月8日、今や師走の風物詩となった杉並花笠祭りが開催されました。サミット(株)・(株)サミットコルモ・大宮八幡宮の共催で行われる花笠祭りは今回で28回目となりました。午前9時30分の開催奉告祭のあと、10時から午後3時まで約3万人の参拝者が訪れました。11時の鏡開きのあと、出店で賑わう表参道を午前午後の二度に渡り260名の踊り手に依る花笠踊りのパレードが練り歩き大前に奉納されました。また山形産の農作物や特産品の露店が立ち並び、郷土料理の芋煮や御神酒(六歌仙)などが振る舞われ、銀杏や楓も美しく色付いた初冬の境内が賑やかさにも包まれました。



### 当宮幸福撫でがえる(石)が 街路燈に

京王井の頭線の西永福駅は当宮参詣者の最寄り駅として利用されています。



### りんどう会だより

#### 全国敬神婦人大会

9月6日、第69回全国敬神婦人大会神奈川大会が横浜みなとみらいで開催されました。当宮より鎌田民枝会長他役員9名が出席し、鎌田民枝会長、五本木秀子副会長、小松茂登子副会長、高橋芳子顧問が表彰されました。

#### 御垣内清掃

9月12日、秋の大祭を控えて御垣内の清掃が行われました。鎌田会長他14名の会員の手による隅々まで掃き清められました。



#### 第11回りんどう会研修旅行 横浜伊勢山皇大神宮参拝の旅

11月29日、第11回りんどう会研修旅行が宮司・鎌田会長他27名の参加で開催されました。創建150年にあたり伊勢神宮(内宮)の西宝殿が新本殿として移築造営遷座されたばかりの伊勢山皇大神宮を正式参拝。中華街の重慶飯店新館にて昼食。午後は、横浜みなと博物館にて横浜港の歴史を学び、その後川崎大師を参拝。名物のくず餅などの買いものを楽しみながら境内を散策しました。



### 大宮八幡宮

#### 第5回フォトコンテスト入選作品発表

##### 宮司賞(最優秀賞)



『後光さす八幡宮』 早川幸子

##### 審査委員長賞(優秀賞)



『五月の薫風』 新井一夫

##### 金賞



『安産祈願をお願いして  
こんなに大きくなりました。』  
奥村泰子

##### 銀賞



『幸せの願い』 上原正行

##### 銀賞



『神域』 仁科朋久

##### 銅賞



『木漏れ雨模様、現る』  
櫻井正明

##### 銅賞



『まだまだ、これから!』  
杉園幸司

##### 銅賞



『お兄ちゃんのだ!』  
鳥田よし恵

### 第6回フォトコンテスト作品募集

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂きます。新元号元年の大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、昨年に引き続きフォトコンテストを開催致しております。

#### 応募期間

平成30年8月1日〜  
新元号元年7月31日

#### 募集サイズ: 2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

応募作品は一人につき5点までです。詳細は、社頭やホームページにて要項をご確認ください。

#### 協力写真店

ホッタカメラ本店(浜田山)  
フォトグラフィ三光堂(大宮八幡宮入口)  
カメラハウス本店(久我山)  
ストックワーク(中野)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

初宮詣芳名(続)

(平成 30 年 7 月 21 日・11 月 20 日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

Table of names for the continuation of the First Temple Visit (Shinji). Columns include names and family details.

Table of names for the First Temple Visit (Shinji). Columns include names and family details.

とんくり通信 (Tonkuri Tsushin) - A section about school activities, featuring a photo collage of children working on their autumn festival projects.

緑豊かな都心の杜で 絆深める和婚式 (Green lush city heart forest, deepening bonds with a traditional wedding) - Advertisement for a wedding service.

結婚式華式者芳名(敬称略) (Wedding Ceremony Honorable Names) - List of names for a wedding ceremony.

秋はよく「○○の秋」と言われますが、大宮幼稚園の秋も行事が盛りだくさんです。スポーツの秋は運動会、食欲の秋はおいしい掘り、行楽の秋は遠足で高尾山に登って来ました。そして最後は芸術の秋!! 作品展が開催されました。年長組は大宮幼稚園の伝統となっている「切画教室」があり、毎年切画師の風祭竜二先生にお越しいただきご指導を受けます。当日を迎えるまで、「先生、切画ってどんなことするの?」や兄弟に卒業児がいる子は「お姉ちゃんの名前の最初の子文字だったから僕もそうするんだ」と新しく教わる事柄にワクワクしていましたが、ご挨拶をして待ちに待った時、間が始まると風祭先生の作品のお話や説明を真剣に聞いていました。それぞれ席に着き「目を閉じ、心に浮かんだ一文字を決めましょう」と声がかかる

いぬ 戌の日早見表 (Inu Inu no Hi Wakari-ban) - Calendar of戌の日 (Dog Day) in 平成 31 年 1 月 5 月.

戌の日詣りは 子育て八幡さまの当座で 安産祈願祭を! (Dog Day Shrine Visit is at the Shrine of Hachiman for Children's Growth with a Pre-natal Prayer Festival!) - Advertisement for a pre-natal prayer festival.

つちのどい  
**平成31年己亥歳 迎春**

すがすが  
新年にはご祈願をお受けになり、清々しい1年に致しましょう

平成31 己亥年 元旦零時 神能「翁」・新春厄除開運初大祈願祭（一番祈祷）斎行



宮司による 初太鼓



新春を寿ぐ神能「翁」人間国宝野村四郎師



午前2時 宮司 若水を供す

清々しい初日の出を迎え、多くの参詣者で賑わうご社頭



歳旦祭 宮司以下参進



立正佼成会 庭野会長他役員御一行参拝



運氣が伸びるようにお神籤を結ぶ



授与所にて新年の御守を受ける参拝者



表参道の賑わい



幸福撫でがえる石にも続々と

**大 宮 第113号**  
**平成31年 新春号**  
平成31年1月1日発行  
**大宮八幡宮社務所**

〒168-8570  
東京都杉並区大宮2-3-1  
電話(3311)0105 FAX(3318)6100  
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp

